

第6次斜里町総合計画策定委員会 第9回部会長会議 記録

1. 日 時 平成25年8月7日(水) 18:30~22:00
2. 場 所 ゆめホール 会議室 1
3. 出席者 別紙のとおり
4. 内 容
 - ・各部会の経過報告、資料3を用い各部の施策について議論を行い再度検討が必要な項目については、部会に持ち帰り検討してもらう事とした。
 - ・資料4を用い計画書のデザインについて議論を行い、事務局にて作成したデザイン案を基本とする事となった。
 - ・資料5 資料6を用い、協働の内容、成果指標について議論を行い、今後部会内で両項目について再度議論をしてもらい、計画書の記載の方法については、協働については弟子屈方式(単位施策について数種類のマーク記述)、成果指標については基本施策について指標化が可能なものに代表的であり解りやすい指標を記述する事とした。
 - ・資料7を用い6次計画の進行管理について議論し、5年目の町民評価の評価組織は6次計画の策定委員(最低部会長は入るべき)で組織し、9年目の町民評価組織は7次計画の策定委員が兼ねて務めるよう意見(要望)があった。
 - ・次回部会長会議は予定通り8/30(金)に山崎アドバイザーに参加してもらい開催する事となった。

●会議内容

1.開会

- ・門間副委員長の進行で行われた。

2.委員長挨拶

- ・前回の部会長会議より約1ヶ月経った。部会間で開催回数のバラツキはあるが、経過報告や今後の議論の展開について議論していきたい。

3.経過報告

(1) 会議開催結果等

○みどり部会(下山部会長)

- ・7/22に前回部会を開催し基本施策整理票の作成を行った。また、昨日、新しい基本施策整理票の提出が部会員からあった。環境基本計画については、次回部会でほぼ完成する見込みとなっている。

○しごと部会(高橋部会長)

- ・前回部会長会議からタイトなスケジュールで部会を3回開催してきている。行事等も重なり参

集状況は良くないが、欠席者については事前に意見をもらう形で進めてきている。何とかこの形までもってきた。

○まちなみ部会（元木部会長）

- ・部会の議論で単位施策まで出そろった。

○くらし部会（戒居部会長）

- ・部会議論で単位施策が埋まったが、議論を尽くせていない項目もあるので今後議論し精度を高めていく。

○いきいき部会（梅村部会長）

- ・2回部会を開催した。7/24に職員WGで作成した基本施策整理票を基に議論を行ってきた。今後、成果指標の表現の仕方について議論を行っていく。

また、部会議論の中で部会で扱う範囲が広いので、項目を絞っていく（項目の統合等）と議論で出た意見や意図が見えてこないのではないか。付帯意見として文言を付しても良いのかとの意見も出た。

→計画書に載せる、載せないは行政に任せて、載せるとしても、いきいき部会の付帯意見としてではなく、全体の付帯意見となるのではないか。

○まなび部会（近藤部会長）

- ・行事等が重なり、部会開催は出来ていないが、前回部会長会議でもらった意見について担当行政委員と個別に話しており、今後部会で議論していく予定である。博物館やスポーツ施設の項目についても、もう少し議論を深めたいと思っている。博物館は委員の意見としては、今後斜里町の目玉となるべきものであるとの意見もあった。スポーツ施設は合宿誘致と絡めて議論をしていきたい。

○ちょうみん部会（代理：清水委員）

- ・前回の部会長会議から3回の部会を開催した。単位施策まで出そろっているが部会員全員の確認が取れているわけではないが、この内容でいく事とした。

4.議 事

(1) 計画体系の調整について

事務局より資料3を用い、現在の集約結果の報告を行った。部会長から前回からの変更点等の説明を求め、部会長より説明を行い部会ごとに施策一覧について議論を行った。

○みどり部会

<前回からの変更点>

- ・なし

<質問・意見>

- ・なし

○しごと部会

<前回からの変更点 等>

- ・L4 施策の「産業連携・協働の仕組と構築」を他の政策に統合するかたちとなり、施策が4つから3つに変更になった。これは、議論の中で基本施策を見ていくと他の施策とリンクする項目が多く、他の施策の中に入れた方が自然であると判断したものである。
- ・前回埋まっていなかった「基本施策 施策の目的」「単位施策 施策名」を埋めた。
- ・L4 施策「知床しゃりブランドの展開」は夢を語っている項目である。
- ・L4 施策「担い手の育成と確保」は今後の人口構造を見たときにやってくるであろう現実を見据えて作成した。いきいき部会とリンクする項目があると思うが、しごと部会は労働力としてのシニア世代の活用の視点から記述している。

<質問・意見>

- ・L6 味覚の継承とあるが具体的にはどんなことを想定しているのか。
→地元の味を想定している。例えば、デンプン団子の様なレシピを伝承するようなこと。ソウルフードの様なものの世代継承をイメージしている。より具体的に記述した方が良いのであれば部会で議論致します。
- ・L6 農業基盤の整備の施策内容に「区画整理の推進」とあるが、現在行っている事業と食い違いが出ているのではないか。また、(農地等)とあるが「等」とは何を指しているのか。
→部会に持ち帰り議論致します。
- ・L6 農業基盤の整備の施策内容に「機場の適正利用と長寿命化」とあるが、「適正管理」ではないか。
→部会で確認します。
- ・L6 に地下資源の計画的利用とあるが、具体的にはどんな物質をイメージしているのか。
→火山灰や砂利などの資源を想定している。
→そうであるなら、地下資源という表現ではなく違う表現でも良いのではないか。地下資源と言えどもっと広い意味にとる事が出来るので、一考願いたい。
- ・L6 商品提供の拡充の単位施策で「食育」の記載があるが、食育はしごと部会だけでなくまなび部会、いきいき部会でも触れる項目ではないか。
- ・L6 新規(流入)就労者の支援の施策内容の「住宅事情の環境整備」とあるが、表現として解りづらい感じを受けるので「住宅環境の整備」などの文言にしてはいかがであろうか。
→部会に持ち帰り検討します。
- ・L6 新規(流入)就労者の支援の施策内容の「季節雇用住宅の提供」とあるが、町の事業としてなじまないのではないか。どちらかと言えば、雇用主側の事業ではないか。提供という表現を変えてはどうか。
ウトロ地区をイメージして記述しているものか。
→ウトロに限ったものではないが、従来と違い一歩踏み込んだ記述になっている。部会に持ち帰り検討します。
- ・住宅環境の整備の中の一つとして、触れる方法もあるのではないか。
→部会に持ち帰り検討します。
- ・L5 「将来の担い手と技術継承の活用」の項目であるが、言葉の意味がとりにくい感じを受けるので表現について一考願いたい。また、施策の目的の「後継者の掘出し」も一考願いたい。
→検討いたします。

・L6 「新たな魅力の発掘と想像」の施策内容に「既存の知床イメージの発掘」とあるが「新たな知床イメージ」ではないか。

→修正いたします。

・L6 「委託作業の活用」の施策内容に「異業種による委託作業」は具体的にはどんなことをイメージしているか。

→コントラです。(コントラクター)

・具体化するための事業のイメージを持って議論を行ってきていますか。

→夢が多く入っている項目もある。中にはぜひやって欲しいものも入っている。特にブランドの所で仕掛けたいものがある。

・成果指標を意識して今後議論をお願い致します。

→承知しました。

○まちなみ部会

<前回からの変更点 等>

・L6 「サイン計画の整備促進」の施策内容に「避難施設」の文言追加。

・L6 「コンパクトシティの構想の策定」は前回「コンパクトシティの実現」から変更した。

・L6 「国道・道道の整備」の施策内容にあった特定の路線名を削除した。

<質問・意見>

・コンパクトシティは具体的にはどういう事をイメージしているか

→高齢者に配慮したコンパクトシティをイメージしており、サービス付き住宅等である。考えてみると斜里町はコンパクトシティなのではないかとの意見もあった。

・コンパクトシティの共通認識が必要なのではないか。コンパクトシティと言えば小規模ではないハード整備をイメージするのではないか。ソフト面を意識している施策であるなら、表現の一考を願いたい。

→持ち帰り検討します。

・全体的に語尾が「検討」になっているので、以前の部会長会議で出来るだけ語尾は「検討」ではない表現にするとしていたので、検討をお願いしたい。

→検討します。

・L6 「行政の情報化推進」はここに入れるのもか。内容によるところもあるが。

→あらゆる情報をすぐ手に入れられる様にする事である。町民が欲しいものをすぐ出せる状態を望む事。

→ちょうみん部会の内容で十分ではないか。

→情報公開ではなく、システムの話です。来庁時などにある情報を得るために、各課にたらい回しされることもあるので、総合窓口の創設なども意見としてあったところです。

→恐らく、5次計画の項目をそのまま記述したのではないだろうか。当時と現在の状況が違うので行政側で調節させて頂きたい。

・L6 「サイン計画」に記述があるが、表現が難解ではないか。

→検討します。

→10年前に行政でつくった計画の名称でもある。

○くらし部会

<前回からの変更点 等>

- ・L5 「計画に基づく防災体制の構築」は「防災計画の充実」から変更した。
- ・L5 「総合的な交通体系の充実」について、交通弱者も盛り込んだ。そこで単位施策をみると、「バス交通網」は通学バスであり「交通弱者」の対象のほとんどは高齢者であり、「バス交通網」はまなび部会「交通弱者」はいきいき部会に入れられないかとの意見があった。

→移管の件は事務局で精査し検討したい

<質問・意見>

- ・なし

○いきいき部会

<質問・意見>

- ・基本施策の目標を埋めた
- ・L5 「生涯を通じた健康づくりの推進」の単位施策数を15から7に集約した。
- ・L5 「高齢者の社会参加、生きがいつくりの推進」と「高齢者の生活を支援する取組みの推進」を統合した。
- ・L5 「幅広い子育て支援の充実」の単位施策にウトロ地区の記述があったが、施策内容に記述する事とした。

<質問・意見>

- ・見た感じ、多い気がする。

→行政委員から住所のない事業はやれないとの意見があった。

→表現を簡素化しまとめた方が良い感じがする。

→部会内で議論し、絞ってこの内容まで持ってきた。もっと絞った方が良いなら部会で議論します。

→行政的にはいかがでしょう。

→比較的統合しやすいと思うので今後調整する可能性はあります。調整する場合は、議論の中身を反映できるように調整します。

→今後の部会でも、調整がある可能性を伝えて欲しい。

- ・L6 「民間病院の誘致及び開業支援対策の取組み」は具体的にどんなイメージですか。

→個人病院の数が少ないので、国保病院の負担軽減や医療の充実の観点から記載している。

→町の計画としては記載しづらい中身ではあるのではないかと。調整する可能性がある項目なのではないかと。

○まなび部会

<前回からの変更点 等>

- ・なし

<質問・意見>

- ・L6 「高校教育の振興」の施策内容の冒頭部表現が難解ではないか。要するに、地元の中学生在が地元の高校に行きたいと思える環境づくりを言いたいのであれば、表現方法を一考願いたい。また「他校種間交流」も「異業種間交流」みたいな使い方をしているが、一考願いたい。
- ・教育長の方針とすり合わせ作業はしていますか。

→すり合わせはしていない。現状の事業と今後やって欲しい事柄を入れている。特にふるさと学

や地域交流といった事柄をやって欲しい項目として記載している。

・まなび部会で幼稚園は取り扱わないのですか。制度上、幼稚園は学校教育のカテゴリーに入るので入っていても良いのではないか。

→部会で議論になったが、結果として入れない事とした。入れても良い内容ではあるが、入れてしまうと幼稚園の項目だけ異質な感じを受け、浮いて見えてしまったため入れなかった。

→まなび部会でしか記述できる部会が無いので、幼児教育として入れた方が良いのではないか。

→認定保育園の制度は町として方針等は出ているのか。

→明確な方針は出していないはずである。

→認定保育園の文言は入れずに、幼稚園や幼児教育の項目は何らかの形で入れて欲しい。

→部会に持ち帰り検討

・L6 「調査・研究・交流の推進」の施策内容で「学会活動を積極的に推進」とあるが、果たして町民は望んでいるかは疑問が残るのではないか。町民目線で再度文言を一考願いたい。

→部会に持ち帰り検討

・L6 「魅力ある図書館づくりの推進」の施策内容で「新館にふさわしい組織体制を整備し」とあるがこの文言は必要であるか。一見、図書館の職員増員に取れてしまうが。

→今後の図書館の期待される役割を勘案して記述した。委員の意見では、読み聞かせなどが図書館機能で重要との意見もあり記述している。部会に持ち帰り検討します。

・L6 「施設設備の整備と維持」の施策内容で「空き地等の有効活用」とあるが、どの辺をイメージしているのか。

→例えば、BG 横の空き地等である。町有地、民有地含めて想定している。他町村の事例として民有地でもグラウンドとして提供を受けている町村もある。

(2) 計画の記載と活用について

事務局より資料4～資料7を用い、計画書のデザイン、協働の記載状況、成果指標の記載状況、進行管理のイメージについて説明

<計画書デザインに関する主な意見> 資料4

・1つの基本施策を2ページにわたって記載するには、分量が足りない気がするので、基本的には1つの基本施策につき1ページのレイアウトが良いのではないか。

・全てのデザイン案が見つらい印象は無いのでこの案を基本として良いのではないか。

※特定のデザインに決定するまでには至らなかったが、今回のデザイン案を基本とする事、各部会でも議論をお願いする事とした。

<協働の記載に対する主な意見> 資料5

・現在は、文言として記載しているが計画書にどのような感じで記載になるのだろうか。

→当初の議論では、弟子屈の様なマークで表現するのが良いとの議論があった。また、協働の記載をどのレベル（基本施策 単位施策）で記載するのも重要である。協働のマークであるが、弟子屈の様な数種類（行政・町民・行政と町民 等）が良いのではないか。

・協働は単位施策ごとに記載する方が解りやすいのではないか。

※結論までには至らなかったが、協働は単位施策ごとに記載し、簡素なマーク（アイコン）で表現する事を基本とする事となった。

<成果指標に対する主な意見> 資料 6

- ・現在の成果指標の記載を見ると、文言や数値で表しており統一できていない。
 - ・既に数値があるものは良いが、新たな数値を盛り込んでよいのかが問題となっている。
 - ・今回はベースが無いので、数値目標を入れる事は困難であることは確かである。
 - ・簡単な指標は、満足度やアンケート調査の数値を入れる事であるが、定期的にアンケート調査を行う事が大前提となってしまう。
 - ・成果指標はどのレベルで記載するのが良いのか。
- 基本施策に対して、代表的で解りやすいな数値を記載するので良いのではないかと。全ての単位施策ごとに成果指標を設定する事は不可能だと思う。
- ・文言だけの成果指標は調整の可能性がある。

※成果指標は、基本施策について記載する事とし、解りやすく代表的な指標を用いる事となった。
また、8/30日までに指標について部会で議論をしてもらう事とした。

<進行管理のイメージに対する主な意見> 資料 7

- ・5年目、9年目の町民組織とは何か。
- まだ、白紙状態です。
- 策定作業に関わっていない町民が5年目の評価作業を行うことは、また1から計画の学習をする事が必要になり時間ももたないのではないかと。第6次計画の策定委員が計画期間中の責任として策定委員が行えばいいのではないかと。全員とはいかないと思うが、最低部会長クラスは参加した方が良いのではないかと。9年目の組織は、計画の勉強も含めて第7次計画策定委員が兼ねて行った方が効率的ではないかと。- ・毎年行われる内部評価は公開するという認識で良いかと。

→まだ、決まってははいない。

→ぜひ、公開して欲しい。町民評価の際にも使用するものであり毎年公開すべきである。

※進行管理のイメージは異論等なく全体で確認した。また、町民組織は明確な結論には至らなかったが、5年目、9年目の組織の意見を参考に検討する事となった。

(3) その他

- ・計画書の文字数のバラツキは行政で調整して欲しい旨の依頼があり、行政で調整する事となった。
- ・基本施策整理票を8/26日までに提出してもらう事となった。

○次回部会長会議は予定通り 8月30日 18:30～ ゆめホール知床 会議室2にて山崎アドバイザーを招いて開催

以上

(22:00 終了)

第6次斜里町総合計画策定委員会 第9回部会長会議 出席者名簿

◇ 委員 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
委員長	三浦 勝利	○	
副委員長	門間 哲也	○	
みどり部会長	下山 誠	○	
しごと部会長	高橋 秀典	○	
まちなみ部会長	元木 誠二	○	
くらし部会長	戎居 桂三	○	
いきいき部会長	梅村真由美	○	
まなび部会長	近藤 将人	○	
ちょうみん部会長	武山 俊一	○	代理 清水 雅夫

◇ 事務局 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
総務部長	北 雅裕	○	
企画総務課長	馬場 龍哉	○	
企画係長	河井 謙	○	
企画係	竹川 彰哲	○	
企画係	塩 幸也	○	

◇ オブザーバー ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考

◇ 一般傍聴 ◇

所 属	氏 名		備 考